

AX

優先権主張	出願番号
ヨーロッパ、米国 1971年9月21日	2393
国年月日	
国年月日	
国年月日	

第号

(200091) 特許願 優先権主張 昭和47年9月21日

特許庁長官殿

1. 発明の名称 ギヤチエンジ方式

2. 発明者 住所 ヨーロッパ・ストラッサウ、モーベル、スレーベルニ
氏名 ヘルツ・ミベリック

3. 特許出願人 住所 ヨーロッパ・ストラッサウ、モーベル、スマルスカ。
名称 トバルナ・エトルニ・キル・トモス。
コードル
国籍 ヨーロッパ・ストラッサウ

4. 代理人 住所 〒105 東京都港区西新橋1丁目2番9号
三井物産館内 電話(591)0261番
(2400) 氏名 金丸義男 外国名

47 094185 方式登録

特許庁
47.9.21
出願第2393号
北洋

明細書

1. 発明の名称 ギヤチエンジ用保合装置

2. 特許請求の範囲

1つの歯に固定するVベルト伝動装置を段階的に保合・分離することによってVベルトを被駆動輪上の所定のベルト車と共動せしめるようにしたVベルト使用のギヤチエンジ用保合装置において、負荷を伝える中空軸上に固定半部と可動半部からなる制ベルト車を取り付け、可動半部のガス室内に内面にらせんみぞを有するブシニを固定し、寄せ端を長手方向に移動してそのカーラーで玉を中空軸の半径方向の穴から押し出して中空軸を制ベルト車の可動半部に保合せしめるようにしたことを特徴とするギヤチエンジ用保合装置。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、1つの歯に固定するVベルト伝動装置を段階的に保合・分離するVベルト使用のギヤチエンジ用保合装置に関するものである。

一つの歯に固定するVベルトを回したベルト車を段階的に保合・分離するベルト伝動装置利用

⑯ 日本国特許庁
公開特許公報

⑪特開昭 48-39866
⑬公開日 昭48.(1973) 6.12.
⑫特願昭 47-94185
⑭出願日 昭47.(1972) 9.21
審査請求 有 (全4頁)

府内整理番号 ⑯日本分類

6837 31 54 A31
2125 31 54 A12

のギヤチエンジは既に周知である。

周知のある例では、1つの歯に固定するベルト車が軸上でアイドリングする。所望の歯に固定するベルト車と軸の固定的保合は軸の回転に応じて固定されかつ軸上を移動自在なクラッチによって行なわれる。クラッチは保合装置によつて作動される。ベルト車と軸の保合をたとえば歯付クラッチによつて行なう型のクラッチは軸と所望のベルト車が停止または等速回転時以外は入らない。ギヤチエンジの回転中に変速するには、ベルト車と軸の保合に歯付クラッチを使用する必要がある。

ベルト伝動装置において適正なベルト張力を得るには、特別の調整装置を用いて駆動輪と被駆動輪の間隔を調節するか、遊び車または調整ロールによる。

さらにVベルト使用の無限可変ギヤチエンジも知られている。この型のギヤチエンジは制ベルト車を使用する。制ベルト車の一半部または両半部は軸上を軸方向に動自在である。一方のベルト車の各半部を相互に分離し他方のベルト車の各半